

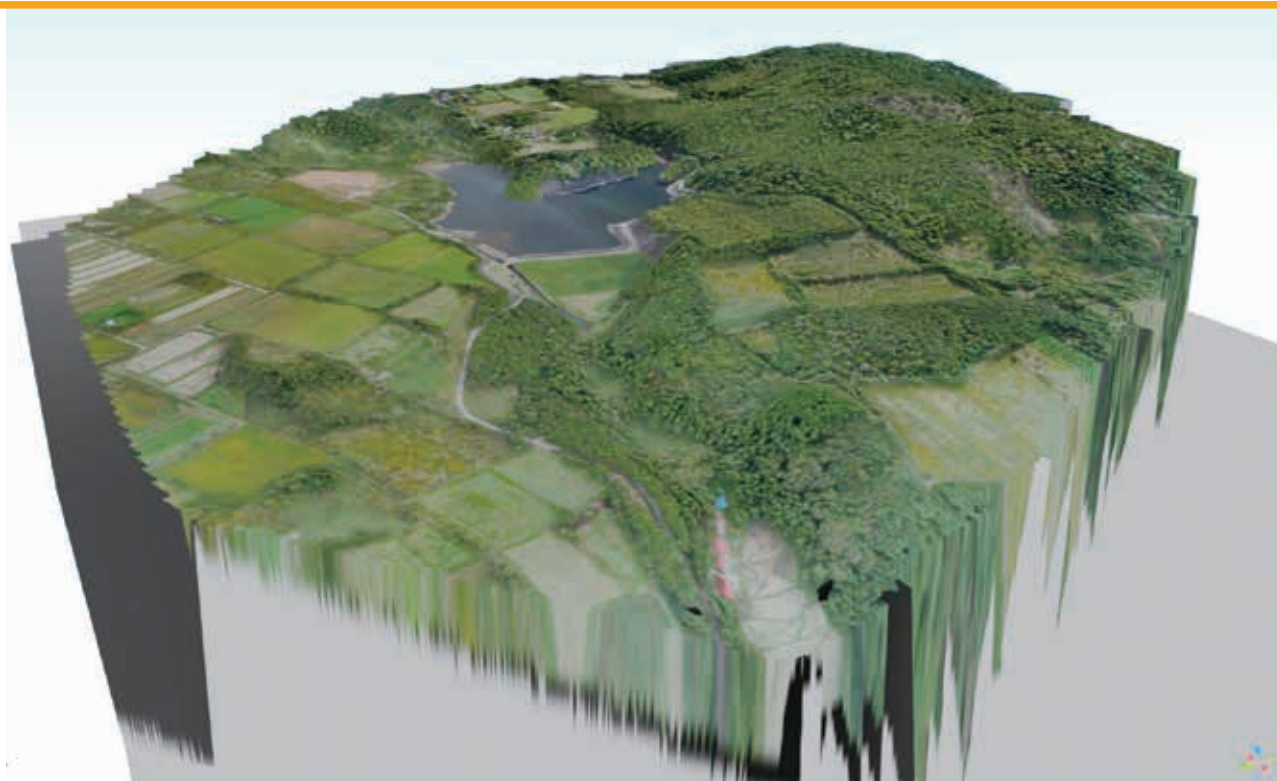


東北農政局
阿武隈土地改良
調査管理事務所

阿武隈だより

A b u k u m a D a y o r i

2022. 3 第48号



menu

大深沢調整池（喜多方市）の3Dモデル

数値表層モデル及びオルソ画像を基に3Dモデルを作成した。

□土地改良区理事長訪問＜会津宮川土地改良区＞

□阿武隈調情報

- ・令和4年度より「隈戸川二期地域」地域整備方向検討調査を実施
- ・令和4年度より「会津宮川二期地域」地域整備方向検討調査を実施
- ・国営施設応急対策事業「名取川地区」の実施状況
- ・国営施設応急対策事業「角田地区」の実施状況
- ・国営施設応急対策事業「母畑地区」「雄国山麓地区」の実施状況
- ・直轄災害復旧事業「隈戸川地区」の実施状況

□地域情報

- ・活躍している営農・販売団体のご紹介
＜今回は、第62回福島県農業賞を受賞した飛澤夫妻をピックアップ＞

□お知らせ

- ・事務所から財産管理課新設のお知らせ
- ・阿武隈土地改良調査管理事務所の組織体制

農林水産省

土地改良区理事長訪問

会津宮川土地改良区

理事長 すぎ やま じゅん いち
杉 山 純 一



◇プロフィール◇

- 生年月日 昭和32年6月19日
- 出身地 福島県会津美里町
- 略歴 福島県議会議員（5期目） 令和元年11月
福島県議会議員退任 令和3年3月
会津美里町長 令和3年4月
土地改良区理事長就任 令和3年9月
- 趣味 ゴルフ

＜座右の銘＞「誠実・恕（他人の心情等を察する思いやり）」

日頃より、会津宮川土地改良区の事業運営に多大なるご支援を賜り深く感謝申し上げます。

会津宮川地区は、福島県会津盆地の西部を北に向けて流下する一級河川阿賀野川支流宮川の左右岸に位置し、大沼郡会津美里町・河沼郡会津坂下町の2町を受益地とする地区であります。

会津宮川地区では、稲作を柱に契約栽培作物（野菜全般）、畜産及びキュウリ、インゲン、アスパラガス、カスミソウ、リンゴ、柿などの農産物によって農業経営が行われており、農業に対する依存度は極めて大きい地域です。

◇前歴事業の概要

本地区の主水源は、約60%が一級河川宮川に、約20%が宮川の支流の小河川、残りの約20%がため池、小溪流に依存していましたが、宮川本川においてさえ流域が狭小のため流況は不安定で、常習的な用水不足に悩まされていました。

さらに、施設数が多いうえに老朽化により維持管理に多額の費用と労力を費やしており、また宮川下流部の会津坂下町付近の低位部は基幹排水施設が未整備であったため、洪水時には水路が溢水し、湛水被害が生じていました。

このため、これらの状況を改良し、大型機械農業経営に対応するため、基幹的農業水利施設である頭首工や幹線用水路については国営会津宮川土地改良事業（昭和55～平成5年度）、新宮川ダムについては国営会津宮川（二期）土地改良事業（平成2～16年度）にて

施設を造成し、かんがい用水の安定的な水源確保を図ることができました。

◇施設の維持管理

会津宮川土地改良区では、前歴事業完了から施設の維持管理に取り組んできましたが、一部施設では造成後30年以上経過し、頭首工ゲート設備の老朽化やエプロン部の表面摩耗・欠損、幹線用水路の漏水、蛇行、沈下が生じる等、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、維持管理費に多大な費用と労力を要しており、新たな対策事業を検討する必要が生じました。

◇国営事業に向けた地域整備方向検討調査実施

老朽化した農業水利施設の改修と併せて、近年、河川流量等の減少により番水を行うなど不安定な用水供給から維持管理に苦慮している状態にあり、また、農業従事者の高齢化、米価の下落、耕作放棄地の増加など山積する課題があります。将来の農業に向けて農業基盤の再編を行い、農業用水の安定供給及び維持管理費の軽減を図るため令和4年度に地域整備方向検討調査の着手を要望しているところです。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と今後のご活躍をお祈りいたします。

阿武調情報

令和4年度より実施

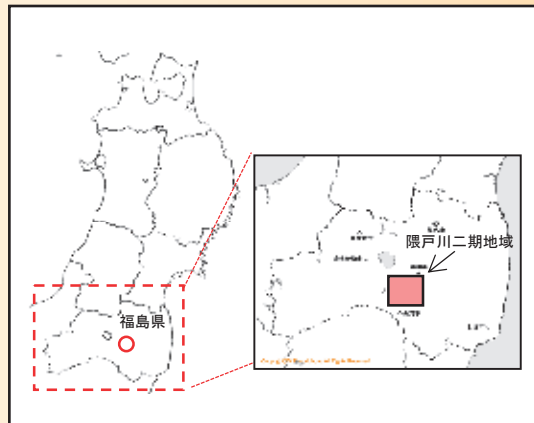
○地域整備方向検討調査「隈戸川二期地域」の概要

隈戸川二期地域は、福島県の中通りの南部、阿武隈川の左岸に位置する水田農業地帯です。

本地域の基幹的な農業水利施設は、国営大規模開墾事業「白河矢吹地区」（昭和16年度～昭和39年度）により造成され、その後、国営かんがい排水事業「隈戸川地区」（平成4年度～平成24年度）により更新されましたが、幹線用水路の漏水など不測の事態が頻発しています。

また、近年（平成25年度以降）の気候変動による用水不足や地区内の非効率な水利用等が課題となっています。

このことから、本調査では、施設の老朽化対策、不安定な用水供給となっている原因を究明するとともに、高度な需給調整の実現や非効率な水利慣行を打破する用水システム再編について検討しています。



概要図



地区概要

関係市町村	福島県白河市、須賀川市、岩瀬郡鏡石町、天栄村、西白河郡泉崎村、中島村、矢吹町（2市2町3村）
受益面積	3,215ha（調査中）
事業構想	（検討中）

阿武調情報

令和4年度より実施

○地域整備方向検討調査「会津宮川二期地域」の概要

会津宮川二期地域は、福島県の西部に位置し、会津美里町外1町にまたがる約4,400haの農業地帯です。水稻を中心に、そば、大豆などの土地利用型作物、アスパラガス、きゅうりなどの野菜、柿、りんごなどの果樹を組み合わせた農業経営が展開されてます。

しかしながら、①近年の気象状況の変化等による用水不足、②畑地かんがい施設が未整備、③米依存の営農体系から野菜等の高収益作物を中心とした営農体系への転換といった課題があり、これらの課題解決に向けて検討していきます。

○地区概要

前歴事業：国会会津宮川土地改良事業(S55-H16)
関係市町村：会津美里町、会津坂下町
受益面積：4,355ha
主要施設：ダム1か所、頭首工3か所
幹線用水路1式



<関連事業の遅れ>
畑地かんがい施設が未整備



<高収益作物の導入>
本地域の水稲作付率は89%、野菜等の高収益作物を中心とした営農体系への転換が必要



<用水不足>
近年の気象状況の変化より、新宮川ダム流入量が減少



<会津宮川二期地域 営農構想の骨子>

現状と課題

【現状】

- 米の産出額割合が約7割
- 水田の89%で水稻を作付
- 水稻湛水直播を大規模に実施
- きゅうり、トマトなどを振興
- 経営規模拡大が進展
- 会津みしらず柿、コメの輸出による販路拡大を実施
- 6次産業化による所得向上の実施

【課題】

- 水稻依存の構造であるが、会津産コシヒカリの価格優位性の低下
- きゅうり、トマトの安定生産
- 特に若年層の新規就農者、認定農業者の確保
- 担い手への農地集積・集約

(担い手へのアンケートから)

- ドローンの導入などスマート農業の導入による省力化の推進
- 可変施肥直播栽培の導入などによる湛水直播の省力化
- 農業用水の不足
- ほ場の小規模、不整形

営農推進の方向

【営農の改善方向】

ほ場の大区画化と併せ用水不足の解消を図り、農業生産基盤を強化するとともに、直播栽培、スマート農業などにより、農作業・水管理労力の省力化や低コスト化と併せて、担い手への農地集積や集約を推進する。
また、担い手への農地集積や農業生産基盤の整備により生み出される余剰時間及び労働力を活用するなどにより、高収益作物の作付けを推進し、販売経路までを確保した営農体系を確立することにより農家所得の向上を図る。

<二つの柱>

1. 収益力向上
2. 生産コスト低減

【数値目標 (KPI)】

- 作物生産額（主食用米を除く）に占める高収益作物の割合8割以上
- 担い手の米の生産コスト(9,600円/60kg未満)
現況：14,535円/60kg
目標：9,600円/60kg
- 担い手への農地利用集積(8割以上)
現況48.6%→計画：80%

活動目標

【営農連絡会】

福島県、会津美里町、会津坂下町、JA、土地改良区で構成される営農連絡会が中心となり、営農計画の実現に向けた取組、地域の課題解決等について取り組む。

【活動目標】

1. 収益力向上
 - 担い手の育成・確保
 - 高収益作物の振興
 - 輸出などによる販路拡大
 - 6次産業化の推進
 - 冬期の収入確保
2. 生産コスト低減
 - 担い手への農地集積・集約、稲作経営規模の拡大
 - スマート農業、ICT化による省力化(営農、水管理)
 - 出荷流通経費の削減

阿武調情報

○国営施設応急対策事業「名取川地区」の実施状況

名取川地区は、宮城県ほぼ中央に位置し、仙台市、名取市及び岩沼市にまたがる2,653haの水田地帯であり、水稲を中心に、水田の畑利用による大豆、六条大麦、はくさい等を組み合わせた農業経営を展開しています。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営名取川土地改良事業（昭和42年度～昭和60年度）により造成されましたが、名取川頭首工においては、電気設備の不具合やゲート開閉装置の故障によるゲート操作が不能となる不測の事態が発生するとともに、躯体のひび割れや摩耗等による施設の性能低下が生じています。

このため、平成28年度～令和4年度にかけて名取川頭首工の機能を保全するための整備と耐震化のための整備を一体的に行い、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用と労力の軽減並びに大規模地震の発生に伴う被害の防止又は軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資することとしています。

- 関係市町村：宮城県仙台市、名取市、岩沼市
- 受益面積：水田 2,653ha
- 予定工期：平成28年度～令和4年度（7年間）
- 事業費：21億円（H26年度単価）
- 主要工事：名取川頭首工

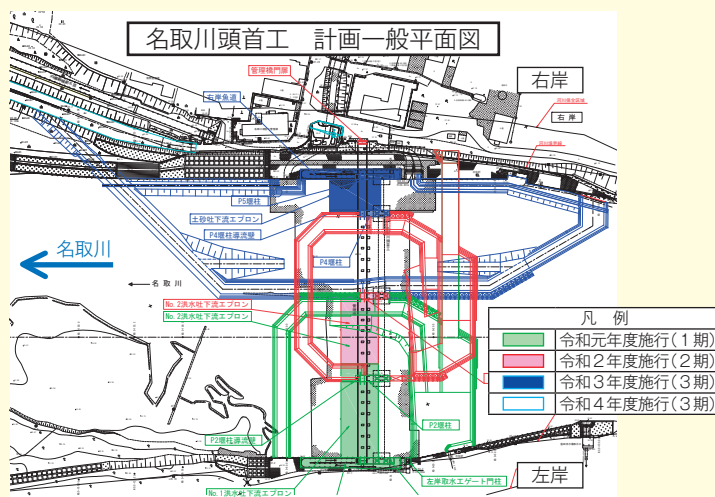


【名取川地区事業位置図】

【工事計画】

名取川頭首工の改修工事は、平成29年度～平成30年度に予備ゲートの格納庫や管理棟、及び河川内の仮締切を設置せずに施工が可能な施設（堰柱耐震補強、右岸取水工ゲート、右岸非常用ゲート等）の整備を行いました。

令和元年度～令和4年度は、河川内で仮締切を設置し、3期に分けて頭首工の躯体、ゲート等の改修工事を実施しています。



【令和3年度の工事実施状況】



【仮締切完工了_R3.11.15】



【ゲート仮囲い設置状況 R3.11.24】



【土砂吐エプロン補修工 (パネル設置後充填工) 状況_R4.02.01】

阿武調情報

○国営施設応急対策事業「角田地区」の実施状況

角田地区は、宮城県南部に位置する角田市2,737haの農地を受益地としています。地区内では水稻を中心に、水田の畑利用による野菜、果樹等を組み合わせた農業経営が展開されており、近年はきゅうり、ねぎ等の高収益作物の栽培が盛んです。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営角田土地改良事業（昭和59年度～平成7年度）により造成されましたが、江尻排水機場は電気設備の故障を起因とした主ポンプの緊急停止により受益地内に湛水被害が発生するとともに、コンクリート構造物のひび割れや摩耗、除塵機設備の故障等による施設の著しい性能低下が生じています。更に、大規模地震が発生した場合には、施設が破損し豪雨時に運転できないなど地域に甚大な被害を及ぼすおそれがあります。

このため、本事業では、施設機能の保全と耐震化のための整備を一体的に行うことにより、施設の維持管理の費用と労力の軽減及び施設の長寿命化を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定を目指します。

- 関係市町村：宮城県角田市
- 事業費：59億円（H29年度単価）
- 受益面積：水田 2,194ha
- 主要工事：江尻排水機場
- 畑ほか 543ha
- 予定工期：令和元年度～令和8年度（8年間）



【角田地区事業位置図】

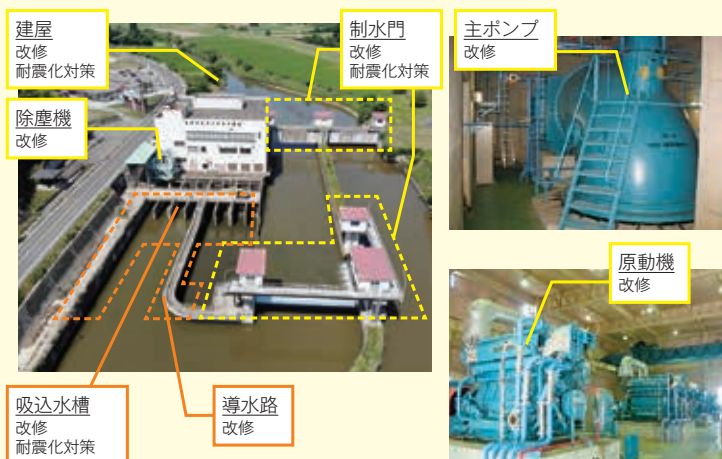
【工事計画】

令和3年度は、

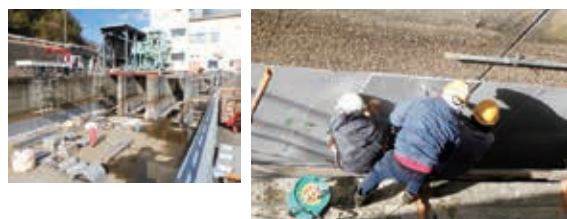
- ①導水路の補修工事
- ②第3第4制水門の改修工事
- ③除塵設備の製作据付工事（3箇年国債）
- ④自家発電機等の改修工事
- ⑤仮棧橋を設置する工事

に着手し、令和4年度以降は、ポンプ設備の補修工事、第1・第2制水門の改修工事、水門基礎地盤の改良工事を順次進める予定です。

施設を供用しながら、改修・耐震化対策を進めるため、円滑な事業推進にご協力願います。



第3第4制水門ゲート設備改修工事



導水路補修その他工事

○排水機能強化へ向けた検討（ICTモデル事業の実施）

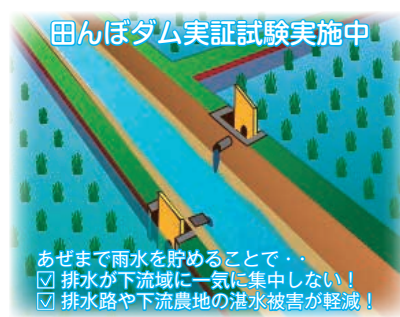
【令和元年台風19号の被害と今後の検討】

各地に大きな被害をもたらした令和元年台風19号により、本地区においても農地・農業用施設、公共土木施設等に大きな被害が生じました。

江尻排水機場（ポンプ4台、総排水量62m³/s）では排水作業が5日間続き、総排水量は約21,000千m³、上流から流れ着いた塵芥約90tを処理しました。

台風被害を踏まえ、「大雨時の水位上昇傾向を把握した流出調整」と「一元的な排水施設の遠方操作」により、効果的な排水管理を実現できるよう、ICTの活用による施設整備を検討しています。

※田んぼの「水を貯める能力」を利用し、一時的に水を貯めて洪水被害を軽減する取り組み。



阿武調情報

○国営施設応急対策事業「母畑地区」の実施状況

【目的】

国営施設応急対策事業「母畑地区」は、福島県中通り東部に位置し、北流する一級河川阿武隈川水系阿武隈川の右岸沿いから東側の阿武隈高地の丘陵地に展開する郡山市、白河市、須賀川市、西白河郡中島村、石川郡石川町及び同郡玉川村にまたがる1,965haの水田地域です。本地区の営農は、稲作を中心に、水田の畑利用による野菜等、畑での野菜や果樹等を組み合わせた農業経営が展開されており、きゅうり、トマト、スイートコーンなどの高収益作物の導入による産地収益力向上に取り組んでいます。本地区におけるダム等の基幹的水利施設は、供用開始から20年以上が経過し、施設の老朽化が進み機能の低下が生じ、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理に費用と多大な労力を要しています。このため、本事業では、老朽化した千五沢ダムかんがい用取水施設及び幹線用水路を改修することにより、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用と労力の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資するものです。

【概要】

関係市町村 福島県郡山市、白河市、須賀川市、中島村、石川町、玉川村
 実施期間 令和3年度～令和9年度（予定）
 受益面積 1,965ha 総事業費 35億円
 主要工事 ダム（改修） 1か所
 幹線用水路（改修） 17.5km

【位置図】



【令和3年度の工事実施状況】

令和3年度は千五沢ダム取水設備内の水位計の交換工事を行いました。



【水位計センサー（交換前）】



【水位計変換器（交換前）】

○国営施設応急対策事業「雄国山麓地区」の実施状況

【目的】

国営施設応急対策事業「雄国山麓地区」は、福島県喜多方市に位置する542haの農業地帯です。本地区の営農は、水稻を中心に、水田の畑利用によるそば、野菜等のほか、畑でのそば、アスパラガス、リンゴ等を組み合わせた農業経営が展開されています。本地区の基幹的な農業水利施設は、国営雄国山麓土地改良事業（昭和45年度～平成4年度）により造成されましたが、第1号揚水機場においては、ポンプ内への異物混入により、ポンプが緊急停止する不測の事態が発生しているほか、経年的な劣化により、貯水池及び揚水機場においては鋼構造物の腐食、電気設備や機械設備の故障、用水路においては管路の腐食、水管理施設においては遠方監視制御設備の故障など施設の性能低下が生じており、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要しています。このため、本事業では、これらの施設機能を保全するための整備を行うことにより、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用と労力の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資するものです。

【概要】

関係市 福島県喜多方市
 実施期間 令和3年度～令和8年度（予定）
 受益面積 542ha 総事業費 19億円
 主要工事 調整池（改修） 1か所
 揚水機場（改修） 1か所
 幹線用水路（改修） 2.6km
 水管理施設（改修） 1式

【位置図】



【施設の現状】

幹線用水路



【管路孔食による漏水】

揚水機場



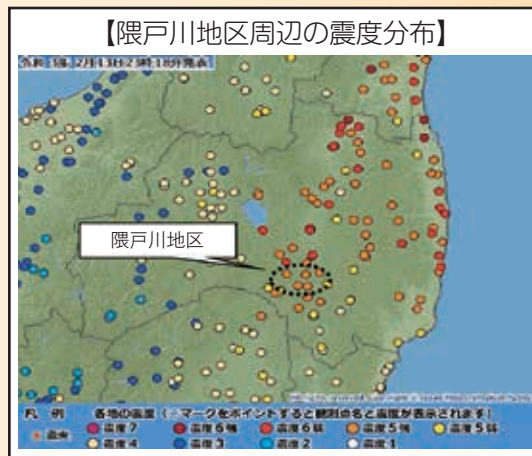
【中間ブッシュの破損】

阿武調情報

○直轄災害復旧事業「隈戸川地区」の実施状況

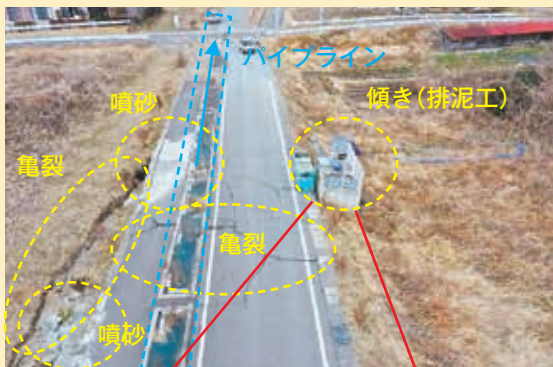
直轄災害復旧事業「隈戸川地区」は、令和3年2月13日23時8分頃に発生した福島県沖地震で被災した福島県南部に位置する国営かんがい排水事業隈戸川地区で造成されたパイプライン、付帯構造物を復旧する事業です。

当時の地震規模は最大震度6強（マグニチュード7.3）であり、隈戸川地区は震度5強の揺れに見舞われました。地震による主な被害は、排泥工柵の傾き、空気弁の破損、管継手部の破損、管理用道路の亀裂・沈下などがあり、パイプラインL=10.9km区間（φ2400~1350）の水張り試験では、下流3.1km区間で著しい漏水が確認され通水が困難な状態であることが判明したため、5月からの営農に支障を来さないよう復旧計画を策定し、直轄災害復旧事業による復旧が決定されたものです。



被災状況

【道路の亀裂・噴砂・沈下】



【路面への漏水】



【排泥工柵の傾き】



【管継手部の破損】

復旧状況

復旧は、かんがい期前後の2段階での実施で計画し、かんがい期前は漏水している施設（写真右）の復旧を、かんがい期後は傾いた排泥工（写真左）の復旧を行う計画としました。

現在は傾いた排泥工の復旧を進めており、令和4年度のかんがい開始に向け、管内充水による機能確認を経て復旧を完了させる予定としています。

地域情報

○活躍している営農・販売団体のご紹介

福島県農業賞を受賞 鏡石町の飛澤さんご夫妻

福島県の中通りに位置する鏡石町で鏡石農遊園を経営されている飛澤良男さん・登久子さんご夫妻が、第62回福島県農業賞 農業経営改善部門^{*1}を受賞されました。

受賞された飛澤さんは、国営かんがい排水事業「隈戸川地区」^{*2}の受益者でもあります。

飛澤さんは、いちご（0.65ha）、水稻（10ha）、なたね（0.9ha）を栽培しており、県内で主力品種になると期待されるいちごの「ふくはる香」や水稻の「天のつぶ」など県オリジナル品種を作付けし、高品質で食味が良好な農産物を県内外の消費者へ届けています。

いちご栽培では、品質向上のため土づくりにこだわり、もみ殻、米ぬかや牛ふんを使った有機質肥料を施用しています。また、農薬の使用も極力少なくするため、太陽熱で土壤消毒する手法や紫外線ランプを照射してうどんこ病を予防する技術などを積極的に取り入れています。

水稻栽培では、いちご栽培に支障が生じないよう省力化技術等を積極的に取り入れるとともに、地元農家が耕作しなくなった水田を引き受けるなど、農地の維持管理にも努めています。

また、ご子息も平成26年に就農し、主に販売部門を担当するなど、地域の担い手としても期待されています。



【心を込めていちごを育てる飛澤さんご夫妻】



鏡石農遊園 (インスタグラム)



<https://www.instagram.com/ichigo.tobisawa/>

- ※1 福島県農業の復興・発展のため優れた業績をあげていると認められ、かつ、生産性が高く経営の安定性・発展性が見込まれ、特に農業経営の改善が顕著である個別経営体（法人を除く）及び農業法人に贈られる部門。
- ※2 福島県の中通りの南部に位置する白河市（旧大信村）ほか1市2町3村にまたがる3,228haの地区で、羽鳥ダムの取水樋門・隧道を改修し取水量を増量することにより、かんがい用水を確保するとともに、頭首工、揚水機場及び用水路の改修を行い、用水の安定供給と維持管理の軽減を図ることを目的に、平成4年度から平成24年度にかけて事業を実施。

お知らせ

○事務所から財産管理課新設のお知らせ

造成する時代から保全する時代へ

令和3年4月、国営土地改良施設（土地改良財産）の管理業務の体制強化を図るため、東北管内に4箇所ある土地改良調査管理事務所に新しく「財産管理課」が設置されました。

これにより、これまで東北農政局農村振興部水利整備課（管理調整係）及び国営事業所等が行っていた国営土地改良施設の管理業務のうち、下記業務について当事務所に移管されました。

なお、今まで当事務所で行っていた、国営土地改良施設の権利保全（無権原用地等の解消）及び直轄する国営施設応急対策事業の用地管理に関する事務も引き続き行います。

1. 国営土地改良財産の管理に関する相談窓口
2. 他目的使用の期間更新事務（新規を除く）の受付
3. 道路や河川等の占用期間更新事務
4. 国営事業の事業成績書の編集に関する事務

業務内容の詳細

1. 国営土地改良財産の管理に関する相談窓口
 - (1) 改築、追加工事及び工事（施行）協議等の事前相談
 - (2) 他目的使用及び財産使用の新規案件に関する事前相談
 - (3) 施設の土地境界に関する確認申請の相談窓口
 - (4) その他土地改良財産の管理に関する相談



2. 他目的使用の期間更新事務の受付

他目的使用及び財産使用の単純期間更新に限り、調査管理事務所での申請の受付及び決裁から承認までの事務処理を行えるようになりました。

なお、他目的使用等の許可を管理受託者自らが更新していた場合でも事前にご相談下さい。

3. 道路や河川等の占用期間更新事務

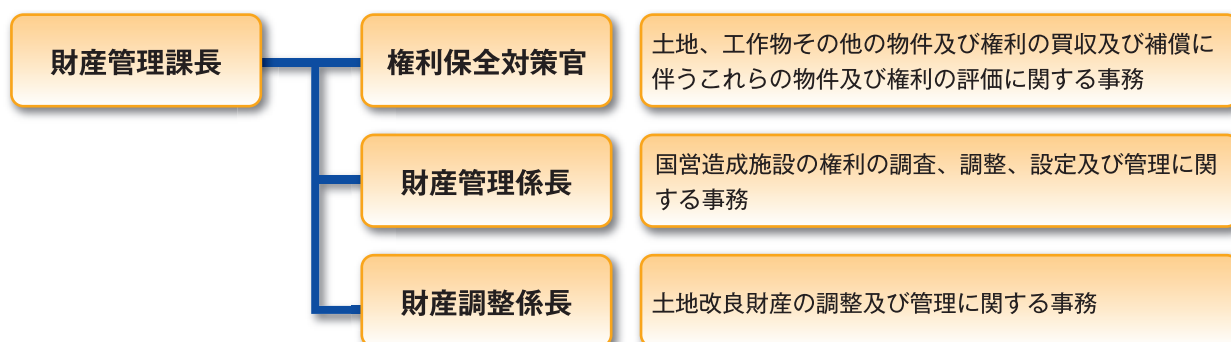
道路法や河川法に基づく占用協議のうち、単純期間更新に限り調査管理事務所での更新協議が行えるようになりました。また、道路管理者及び河川管理者から占用更新の同意があった場合は、その旨管理受託者へ通知致します。

いずれは、法定外公共物や市町村有地の使用、鉄道用地の使用、国有林野の使用等の更新協議も調査管理事務所で行えるようになる予定です。

4. 国営事業の事業成績書の編集に関する事務

事業成績書の編集に関する事務、特に土地改良施設整理台帳（土地改良財産台帳や財産調書の元になる台帳）及び今後の管理に必要な施設管理図・用地管理図の整備に関する事務が移管されました。

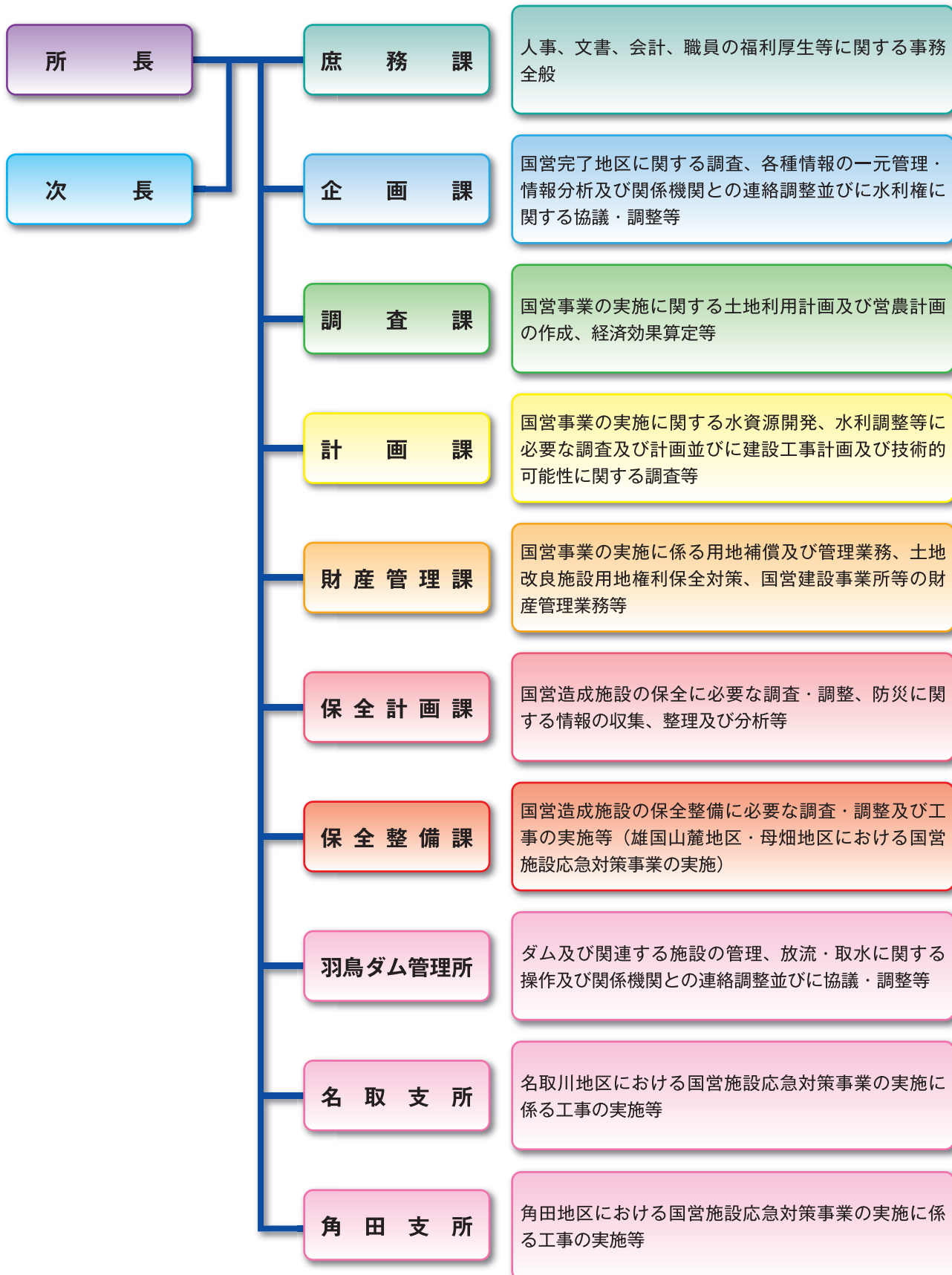
【財産管理課の体制】



お知らせ

○阿武隈土地改良調査管理事務所の組織体制

令和3年4月1日現在



編集後記

- ◇紙面作成にあたり、会津宮川土地改良区の杉山理事長におかれましては、ご協力いただき大変ありがとうございました。
- ◇令和3年度は、新型コロナウイルスの感染が心配される中、東京オリンピック、パラリンピックが開催され、福島市で開催された女子ソフトボールが金メダルを取るなど明るい話題もありましたが、一度落ち着いたように見えた新型コロナウイルスの影響から年度末に爆発的な感染が起こり、まん延防止等重点措置要請が出されるなど感染リスクが身近に感じられるようになりました。・・・もうしばらく我慢が続きます。
- ◇今後も皆さまのご協力をいただきながら農業農村の持続的な発展に尽くしていきたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

所在地・連絡先

阿武隈土地改良調査管理事務所



〒960-0241 福島県福島市笹谷字稲場38-7
TEL 024-555-3780 FAX 024-555-3783

羽鳥ダム管理所



〒962-0623 福島県岩瀬郡天栄村大字羽鳥字水上5-1
TEL 0248-84-2211 FAX 0248-84-2702

角田支所



〒981-1505 宮城県角田市角田字中島下458
(あぶくま川水系角田地区土地改良区2階)
TEL 0224-86-5150 FAX 0224-62-5088

名取支所



〒981-1226 宮城県名取市植松字錦田84-1
(名取土地改良区2階)
TEL 022-381-6733 FAX 022-381-6734



東北農政局
阿武隈土地改良
調査管理事務所

咲かそう！笑顔のむらづくり

私たちが住む里は、いつまでも美しくたくましく人々とともに息づいて欲しいとの願いをシンボルマークに託しました。さんさんと輝く太陽のイメージは、希望と優しさ、そして実り豊かな大地のカタチを表しています。太陽の中には笑顔を配し、美しく豊かな自然に生きる人々をシンボライズしています。

編集
発行

阿武隈だより 第48号 令和4年3月 発行
東北農政局 阿武隈土地改良調査管理事務所 URL : <http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kokuei/abukuma/>



食べて応援しよう!

被災地を応援

農林水産省



食料王国みやぎ

検索

食べて応援しよう

検索

このパンフレットは環境に優しい再生紙を使用しています。